

2021年11月18日

東急不動産株式会社

愛知県田原市でバイオマス発電所を建設

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）と伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）、九電みらいエナジー株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：水町 豊、以下「九電みらいエナジー」）の3社は、共同出資による事業運営会社「田原グリーンバイオマス合同会社」を通じて、愛知県田原市臨海工業地域内田原4区において、バイオマス発電所を建設することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

本事業では、伊藤忠商事が木質ペレットの長期供給を行い、九電みらいエナジーがオーナーズエンジニアリング業務を担当、東急不動産が再生可能エネルギー発電事業の運営ノウハウを提供することで長期安定的な事業運営を目指して参ります。なお、発電所の建設および運転に要する資金の一部はプロジェクトファイナンスにより調達します。

愛知県田原市では、環境と共生する豊かで持続する地域づくりを基本理念とする「たはらエコ・ガーデンシティ構想」を推進しており、当社は、同市における再生可能エネルギー発電事業を通じて本構想に貢献して参ります。

東急不動産ホールディングスグループでは、気候変動対策やSDGsの達成といった大きな社会課題に向き合い、サステナブルな社会をつくることを事業の大きな柱とし、『WE ARE GREEN』のスローガンの下、今後ますます社会的意義が高まる多様なパートナーとの共創により、再エネ事業のさらなる拡大を目指しております。

東急不動産は、2021年9月末現在において、太陽光・風力・バイオマス発電所を合計で68事業、定格容量1,201MW(※)を保有しており、原子力発電所1基以上の発電能力を有しております。本バイオマス発電事業への参画により、天候に左右されない安定的な再エネ電源の確保、ならびに太陽光及び風力発電以外の再エネ事業の領域拡大を通じ、再エネ市場における存在感を高め、脱炭素社会実現に努めてまいります。

※共同事業を含む総関与事業の値

■ 会社・事業概要

会社名	田原グリーンバイオマス合同会社
出資比率	伊藤忠商事 40%※、九電みらいエナジー 40%、東急不動産 20%
所在地	東京都港区北青山2丁目5番1号
事業内容	電気供給事業
建設予定地	愛知県田原市白浜2号4-1
発電容量	50,000kW
使用燃料	輸入木質ペレット等
年間発電量	約3億4,000万kWh/年※2 (一般家庭約11万世帯分の年間消費電力に相当)
施工取りまとめ	東洋エンジニアリング株式会社
運転・保守会社	株式会社東京エネシス
燃料供給	伊藤忠商事
国内物流	愛知海運産業株式会社
オーナーズエンジニアリング	九電みらいエナジー
着工	2022年11月(予定)
運転開始	2025年4月(予定)

※ 伊藤忠商事100%子会社「青山ソーラー株式会社」経由

■ 建設予定地



■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマと SDGs の取り組み

東急不動産ホールディングスグループは、本年 5 月 11 日に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した 6 つのテーマに取り組み、SDGs の達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

貢献する SDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について
<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>